第20講

医学・自然科学系（6）
死生観

チャプター1

資料読解

生徒メモ欄

次の文章は，曾祖母の死にむきあった小学5年生の恋（れん）ちゃんの視線で書き上げられたものです。

おおばあちゃんの息（いき）がとまりそうだった。

わたしは学校（がっこう）に行（い）っていた。
いつものように
「行（い）ってきます」って，
おおばあちゃんの手（て）をにぎってから
登校（とうこう）した。

静子（しずこ）おばあちゃんが，たくさん泣（な）いた。

おおばあちゃんは，静子（しずこ）おばあちゃんのおかあさん。
92歳（さい）だった。

一週間前（いっしゅうかんまえ），「もうこれ，いらん」って
自分（じぶん）で入（い）れ歯（ば）をはずし，それっきり食（た）べなくなった。
それからは，ふとんで寝（ね）こんでいたから，
心配（しんぱい）していた。

おおばあちゃんは，
その夜（よる）おそく，
ひっそり息（いき）を引（ひ）き取（と）ったんだって。

いつもの眠（ねむ）っているような顔（かお）。

すこしだけ
お化粧をしてもらった。

わたしは朝，いつものように
あいさつをしに行こうと思ったら，
おおばあちゃんが亡くなったって，
教えられた。
部屋のなかは，もう
かたづけられて，
しんとしていた。

おおばあちゃんの顔に
まっ白な布がかけられていた。

大好きだった
おおばあちゃん。

もう……。

「おおばあちゃんにあいさつしてあげて」
おかあさんがいった。

……布をはずしてみた。
「おはよう」

手にさわってみた。

足もなでてみた。

ふれるとすごくつめたいんだけど……。

おおばあちゃんの顔，
ほんとにやさしい。

わたしが小さいときは
とっても元気だったおおばあちゃん。
前みたいに手をつないだり，お話したりできない。
足をさすってあげて，
「ありがとう」っていわれることもない。

生徒メモ欄

生徒メモ欄

「おおばあちゃんの大事なもの，
恋もいっしょにさがしてくれる？」

毎日使っていたものや大切にしていたもの。
おおばあちゃんをお棺に入れるとき，
いっしょに入れてくれるのかな。
おかあさんと，
おおばあちゃんの鏡台をあけてみた。

くし，まゆずみ，口べに，
おさいふ，めがね……。

古い写真もあった。

わたしもいつか，
おおばあちゃんみたいに
やさしいおばあちゃんになれるかな。

「ずっと大事にしてくれて，ありがとう」

キスをした。

おおばあちゃんの
「寝顔」を見て，
みんな
笑顔になった。

おおばあちゃんは心のなかにいる。

これからも，毎日
お話できるような気がする。

（出典：國森康弘『いのちつぐ「みとりびと」①　恋ちゃんはじめての看取り－おおばあちゃんの死と向きあう』，一般社団法人農山漁村文化協会，2012年より）

（大分大学　医学部　看護学科　2021）

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター2

問題およびヒント

問題を見てみよう

ある調査で「死んだ人は生き返ると思いますか」という問いに「はい」と答えた児童・生徒がいたそうです。恋（れん）ちゃんのおおばあちゃんの看取りの体験を踏まえながら，「死んだ人は生き返る」と考えている児童・生徒へのあなたからのメッセージを，600字以内（句読点を含む）で送りなさい。

解答案をつくってみよう

500

600

（　　　　　字）

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下の表を用いて自己評価をしてみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見(主張)	設問と意見との関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由(根拠)	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F
	簡潔な記述	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	段落の設定	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター3

答案例①

　身近な人の死を受け止めることはとても悲しく辛いことです。生き返って欲しいという気持ちを持つことは当然ですが、「死んだ人は生き返る」ということはありません。

　「生き返る」と考えているのであれば、生き返って欲しいという気持ちから信じてしまっているのかもしれません。また、急には受け止められないかもしれません。しかし、もし、人間が生き返ることができたらどうなるでしょうか。誰も死を迎えることなく、永遠の命があることはよいことだけではないはずです。不老不死の体で終わりがない人生を想像してみてください。必ず苦しくなるときが来るでしょう。歳をとっていき、生きられる時間に限りがある方がよい人生が送れるのではないかと思います。それは、子どもの間、若い間しかできないこともありますし、歳をとってからしかできないことがあるからです。映画でも物語でも終わりがなかったらおもしろくないでしょう。寿命があるからこそ、今を大切にして頑張ったり楽しんだりしようと思って生きることができるのです。「生き返る」よりも「今しかない」方がよい人生だと思います。

　恋ちゃんのおおばあちゃんは、長生きし家族に見守られて死を迎えられたので、よい終わり方ができたのではないでしょうか。死に方を考えることは生き方を考えることになるのです。終わりを意識することで、より充実した人生を送ることにつながると思います。

（600字）

生徒メモ欄

教員記入欄

評価してみよう

答案例①を、以下の表を用いて評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見(主張)	設問と意見との関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由(根拠)	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F
	簡潔な記述	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	段落の設定	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター4

答案例②

　私は「死んだ人は生き返る」と考えているあなたと同じ意見です。体の機能が停止し動かなくなってしまっても、誰かが心の中でその人の事を思い出すことは「生き返った」ことになると思うからです。

　恋ちゃんはおおばぁちゃんの最期に立ち会い、死ぬと体が冷たくなることやお話できなくなることを知りました。でも、おおばぁちゃんの「寝顔」を見て、おおばぁちゃんは心の中にいて、毎日お話できるような気になりました。私は、身近な人が亡くなると現実には存在しないけれども、どこか遠くに行って帰ってこられないから会えないだけで、心の中で呼びかければいつでも答えてくれるような気持ちになります。それはとてもあたたかくて幸せなことだと思います。

　動画や写真を見ればその人の元気な姿に会うことができます。ＳＮＳの履歴を見ると現実的には会えなくても、どこかで元気に生きているように感じます。この先、仮想現実空間で亡くなった人と再会することができるようになるかもしれません。誰かが望めば、相手はいつでも生き返ることができると言えます。しかしそれは、生きている人間からの一方的な思いや願いであることを忘れてはいけません。亡くなった方が生き返ることを望んでいない場合もあります。死んだ人が生き返ったと言うと周囲から異質な目で見られることもあります。あなたが心の中で相手を思い懐かしむことが生き返ることだと思います。

（600字）

生徒メモ欄

教員記入欄

評価してみよう

答案例②を、以下の表を用いて評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S	A	B	C	F
意見(主張)	設問と意見との関係	S	A	B	C	F
	独自性・独創性・発展性	S	A	B	C	F
理由(根拠)	事実に基づいた論証	S	A	B	C	F
	重要性・問題性	S	A	B	C	F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S	A	B	C	F
	簡潔な記述	S	A	B	C	F
表記・表現	誤字・脱字	S	A	B	C	F
	段落の設定	S	A	B	C	F
	制限字数	S	A	B	C	F
	文体の統一	S	A	B	C	F
	表現技法	S	A	B	C	F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター5

レベルアップのための読書案内

本講で学んだことを元に、さらにブラッシュアップするための
おすすめの書籍情報を知り、その書籍の読み方を学びましょう。

講義メモ欄

生徒メモ欄

教員記入欄

おわりに

この講座であなたは、ベーシックレベルの講座で学んだ小論文の基本的なスキルとテクニックを入試問題で発揮できるよう、努力を積み重ねてきました。そして、20の世界を覗(のぞ)き込み、思考し、ときには感情を揺さぶられ、壁を乗り越えようとしました。その過程で、いろいろなことばを手にし、自身の中にある宇宙の視野を広げてきたと思います。この講座で経てきた過程を、あることばをもとに、紐(ひも)解いてみようと思います。

○ 才能や能力は向上できる

学びに前向きになれるかどうかは、マインドセットに鍵があるように思います。そもそもマインドセットとは、経験や教育や先入観から形づくられる心理状態や思考のパターンを指します。

こうした様子を研究したのが、社会心理学・発達心理学者のキャロル・ドゥエック氏です。キャロル氏は、挑戦し続け目標を成し遂げる「グロースマインドセット（以下GM）」という概念を提唱しています。別名「成長マインドセット」「しなやかなマインドセット」ともいい、自分の才能や能力は経験や努力によって向上できるということを主張しています。

逆に「フィックストマインドセット（以下FM）」というものもあるといいます。自分の才能や能力は経験や努力をしても向上しないというマインドセットのことです。

○ グロースマインドセットとフィックスマインドセットの違い

GMのもとで目標に挑戦するとこれから挙げる5つの壁に当たったとき前向きに取り組めるし、FMのときは逆になるとキャロル氏はいいます。

①挑戦しなければならないとき
(GM)喜んで受け入れよう
(FM)挑戦したくない

②障害があるとき
(GM)乗り越えるまで続けよう
(FM)障害は越えられない

③努力が必要なとき
(GM)努力をすれば必ず成長できると信じよう
(FM)努力は無駄だ

④他者から批判を受けたとき
(GM)批判から学ぼう
(FM)批判は聞きたくない
※批判（criticism）であって、否定（negative）ではありません。

⑤他者が成功したとき
(GM)他者の成功を刺激にして、もっと成長しよう
(FM)他者の成功は自分にとって脅威だ

○ マインドセットと講座における「3つの意識」との照合

GMとFMに大きな違いがあることに気づくでしょう。この講座に取り組むさい、3つのことを意識してほしいと伝え、実践してきたと思います。

①「自分には知らないことがある」と自覚する

②「自分の考えは間違っているかもしれない」と俯瞰(ふかん)する

③「分からないことや間違いに気づいたときに、都度学び、修正する」ことを習慣化する

これらの内容と上記のマインドセットの話を照らし合わせると、まさにGMを持つトレーニングをしてきたということがわかるでしょう。しかも、このページまで講座に取り組んできたのですから、GMの大切さが身に染みて分かってもらえたのではないでしょうか。

講座を受講する前と後のあなたを比べると、大きく変わったのではないでしょうか。さまざまな世界に足を踏み入れ、ときには興味深く取り組み、ときには苦戦したかもしれません。しかし、確実にあなたの中にある広い宇宙にことばを蓄えることができたでしょうし、物事の捉え方が広く、多様になったのではないでしょうか。物事をいろいろな角度から捉えることは、人間にとって苦手なものです。その壁を「よりよい未来や世界をつくろう」という思いを養いながら、乗り越えようとしてきたあなたを、ぜひ褒めてみてください。

この講座での経験は大学進学後の学びに留まらず、社会人になったときにも支えになるはずです。最後まで成長しようとしたマインドと、多くの知や経験を得たあなたなら、きっと善き世界をつくることができるでしょう。

この講座で養った実力をもとに、試験会場で全力で小論文の答案作成に挑んでください。きっと入試会場で目の当たりにした問題も、あなたにとって素敵な学びとなることでしょう。私も、これからもあなたを応援します。これからもぜひ頑張ってください!

神﨑 史彦

巻末資料① 問題文テーマ・キーワード一覧

講義数	講名	関連キーワード	関連テーマ
第1講	人文科学系(1) 問いかけるということ	傾聴 本質	「なぜ何もないのではなく、何かがあるのか」、形而上学、存在論
第2講	人文科学系(2) 情動への向き合い方	感情労働 情動 抑圧	認知、精神運動、心の知能指数(EQ)、メンタルモデル、well-being
第3講	人文科学系(3) 多様性の尊重と困難さ	多様性(ダイバーシティ) 価値観 価値観の形成 価値多元主義	レイシズム(人種主義)、ヘイト(憎悪)、価値観の多様性、道徳的相対主義と道徳的絶対主義
第4講	人文科学系(4) 非認知能力	認知 非認知能力への批判	ピアジェの思考発達段階説、自己中心性、認識論、認知心理学、自己肯定感、発達心理学、ヴィゴツキー、パパート、学習指導要領「生きる力」
第5講	人文科学系(5) 主体的・対話的で深い学び	評価の3つの観点 主体的に学習に取り組む態度をどう見取るか	アクティブ・ラーニング、21世紀型スキル、21世紀型教育、知識基盤社会、問題解決学習(Project Based Learning)、デューイの経験学習、ヴィゴツキーの構成主義的学習観
第6講	人文科学系(6) プログラミング教育	STEAM教育	デザイン思考、収束・発散思考、創造的思考、リベラルアーツ、アンプラグド・プログラミング、AI、IoT
第7講	人文科学系(7) 教育現場における性的マイノリティ	LGBTQ+	モントリオール宣言、ジョグジャカルタ原則、フェミニズム、クィア理論
第8講	社会科学系(1) 人が働く意味	労働 資本主義社会における労働	労働経済学、奴隷制、強制労働、ハンナ・アーレント『人間の条件』、仕事と労働の違い、マックス・ヴェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』
第9講	社会科学系(2) 市民が担う責任	市民 国民	公民、臣民、ナショナル・アイデンティティ、民衆、国民主権、自由権、参政権、社会権、大陸法、合意形成、市民革命、プロ市民
第10講	社会科学系(3) SDGsが持つ問題性	SDGs 持続可能な開発	持続可能な開発のための教育(ESD)、循環経済、SDGsウォッシュ

巻末資料① 問題文テーマ・キーワード一覧

講義数	講名	関連キーワード	関連テーマ
第11講	社会科学系(4) ジェンダー	ジェンダー	ジェンダーバイアス、ジェンダーフリー、性差別、ジェンダーギャップ、家族社会学
第12講	社会科学系(5) 過疎地域が抱える問題	関係人口	ツーリズム、二地域居住、地域留学、地域通貨、連帯経済、インキュベーション、ふるさと納税、リモートワーク、ワーケーション、コンパクトシティ、限界集落
第13講	社会科学系(6) 情報技術と人とのつながり	ICT 信頼 信用	情報格差、21世紀型スキル、クラウドコンピューティング、IoT(Internet of Things)、ソサエティー5.0、ビッグデータ、フィンテック、人工知能(AI)、NFT、ブロックチェーン、メタバース、web3.0
第14講	社会科学系(7) AIと法	国家からの自由 自然権 プライバシー権	刑事訴訟法、自由権的基本権、表現の自由、報道の自由
第15講	医学・自然科学系(1) インフォームド・コンセント	インフォームド・コンセント 終末期医療 パターナリズム 自己決定権	医療倫理、ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、患者の権利宣言、国際人権規約、セカンドオピニオン、プライマリ・ヘルス・ケア、シェアード・ディシジョン・メイキング
第16講	医学・自然科学系(2) チーム医療	チーム医療 EBM(Evidence-Based Medicine) 業務の見える化	診療録(カルテ)、看護記録、回診、カンファレンス、キャンサーボード、地域医療、在宅看護・介護、臨床研究、治験、臨床疫学、健康情報学、統計学、プラグマティズム
第17講	医学・自然科学系(3) ストレス	ストレス	ストレス反応(緊急反応、一般適応症候群、ストレス障害)、ストレスコーピング、3R(睡眠、リラクゼーション、レクリエーション)、カウンセリング、ストレスマネジメント、心的外傷後ストレス障害、学習性無力感、コンフォートゾーン、イップス、生命・生活の質(QOL)
第18講	医学・自然科学系(4) 受動喫煙	受動喫煙	嫌煙、スモークハラスメント、路上喫煙、加熱式たばこ
第19講	医学・自然科学系(5) 生きがい	クオリティ・オブ・ライフ(QOL) 世界保健機関(WHO) 健康憲章	過労死、ワーク・ライフ・バランス、予後、ホスピス、緩和医療、ターミナルケア、日常生活動作(ADL)、生命の尊厳
第20講	医学・自然科学系(6) 死生観	死生観 死生学	尊厳死、緩和医療、死への準備教育、終活

巻末資料②　小論文　ルーブリック

ルーブリックとは、学習の達成度の評価指標を表で示したものです。横軸は評価の観点、縦軸は学習者の到達度を示します。なお、それぞれの評価基準を文章で表現していますが、抽象的に示していますので、評価基準の文章と自分の解答案と照らし合わせ、まずは自分なりに「このあたりはできている（できていない）」という評価をしてみてください。そして、次のレベルに到達するにはどのようなことをする必要があるのかを考え修正してください。目安として、すべての項目がB評価以上になるように頑張ってみてください。

●内容

項目	設問の理解	意見（主張）		理由（根拠）		論理性・簡潔性	
項目	出題の意図および背景の理解	設問と意見との関係	独自性・独創性・発展性	事実をもとにした論証	重要性・問題性	適切な論理展開	簡潔な記述
評価ポイント	設問内容の理解 ※ 課題文・データ等の読解を含む	① 設問との形式的な呼応 ② 設問との内容的な呼応	① 自分なりに意見を構築する姿勢 ② 意見の視点・手段の独創性 ③ 意見の視点・手段の発展性	① 事実をもとにした論証 ② 主観を排除した事実の取り扱い ③ 総括的な事実認識による論証（断片的な事実認識の否定） ④ 深層的な事実認識による論証（表層的な事実認識の否定）	① 設問やテーマに潜む問題・課題の適切な理解 ② ①の重要性・深刻性の理解と指摘 ③ 第三者や他分野への影響を鑑みたうえでの優先順位付けの有無	① 論旨の逸れのなさ ② 論理の飛躍のなさ ③ 反論の余地のなさ	① 論旨に関係ない記述のなさ ② 冗長な記述の排除
S	設問の内容を十分に理解して論じている。	設問に呼応する意見を示している。	意見に独創性があり、かつ提示している改善策や展望に発展性および具体性がある。	社会的もしくは心理的背景を踏まえ、正しい事実認識をもとに、総括的・深層的な視点で論証を行っている。	設問やテーマに潜む問題・課題を十分に理解し、それが様々な分野における影響を鑑みたうえで、他の意見と比べて重要・深刻であるという認識をしている。その上で、意見を主張する重要性もしくは問題性を説明している。	論旨が逸れたり、論理が飛躍したりすることなく文章を展開している。かつ、反論の余地がない。	論旨に関係ない記述がなく、言葉を吟味して、無駄なく文章を展開している。

項目	設問の理解	意見(主張)		理由(根拠)		論理性・簡潔性	
	出題の意図および背景の理解	設問と意見との関係	独自性・独創性・発展性	事実をもとにした論証	重要性・問題性	適切な論理展開	簡潔な記述
A	設問の内容をおおよそ理解して論じている。	設問に呼応する意見を示しているように見えるが、実のところ正しく答えられていない。	意見に独創性がある。	社会的もしくは心理的背景を踏まえ、正しい事実認識をもとに論証を行っている。	設問やテーマに潜む問題・課題を理解し、第三者にとって重要・深刻であるという認識のもと、意見を主張する重要性もしくは問題性を説明している。	論旨が逸れたり、論理が飛躍したりすることがほぼなく文章を展開している。かつ、反論の余地を極力なくしている。	論旨に関係ない記述がほぼなく、論理性に支障がないが、言葉の精選がなされていなかったり、内容が重複して無駄な記述が多かったりする。
B	設問の内容に関する理解が不十分なまま論じている。	設問に関係するテーマで論じているが、設問に呼応していない。	自分なりの考察をもとに、意見を示している。	できる限り主観を排除して事実を取り扱い、正しい事実認識をもとに論証を行っている。	意見を主張する重要性もしくは問題性を理由説明しているが、その重要性・深刻性を理解して述べているとは言い難い。	論旨が逸れている部分はないが、論理の飛躍があり、理由(根拠)が成立しない。	論旨に関係ない記述があるものの、論理性にはほぼ支障がない。
C	設問の内容を理解しているとは言いがたい論述である。	設問に呼応する意見を示しておらず、設問に関係するテーマでも論じていない。	意見を提示しているものの、一般論の受け売り、もしくは類似したものであり、自分で考察したものとは言いがたい。	特殊事例や都合のよい事実をもとに論証しようとしている。もしくは断片的な情報での論証にとどまっている。	説明をしているものの、自らの意見の重要性・問題性を論じているとは言い難い。	論旨が大きく逸れており、理由(根拠)が成立しない。	論旨に関係ない記述があるために、論理性に支障をきたしている。
F	設問を理解しているかどうかが判定できない。	設問に対する意見を示しているかどうか、判定できない。	意見が不明確であり、自分で考察しているかどうかが判定できない。	事実をもとに論証しているかどうか、判定できない。	意見の重要性・問題性を論じているかどうか、判定できない。	論理展開が判定できない。	論旨に関係ない記述しかない。もしくは判定できない。

巻末資料②　小論文　ルーブリック

●表記・表現

項目	表記・表現				
	誤字・脱字	段落の設定	制限字数	文体の統一	表現技法
評価ポイント	① 誤字・脱字の有無 ② 漢字かな交じりの表現の有無	意味性のある段落構成	制限字数の厳守	常体での統一	表現技法
S	誤字・脱字がなく、漢字かな交じりの表現もない。	意味性を持って段落を区切っている。	制限字数の９割以上、かつ制限字数をオーバーしていない。	文体を「だ・である」に統一している。	明らかな表現上の不備がない。（呼応表現、句読点、文のねじれのなさ、主語・目的語・述語の無用な省略のなさ、無用な省略語・若者言葉の不使用）
A	―	―	―	―	―
B	―	―	―	―	―
C	誤字・脱字および漢字かな交じりの表現が１つおよび2つある。	意味性を持たずに段落を区切っている箇所がある。	制限字数の９割未満である。	―	明らかな表現上の不備が1つおよび2つある。（呼応表現、句読点、文のねじれがある、主語・目的語・述語の無用な省略がある、無用な省略語・若者言葉の使用）
F	誤字・脱字および漢字かな交じりの表現が３つ以上ある。	段落を区切っていない、もしくは段落を区切りすぎている。	制限字数の８割未満、もしくは制限字数をオーバーしている。	文体を「だ・である」に統一していない。	明らかな表現上の不備が3つ以上ある。（呼応表現、句読点、文のねじれがある、主語・目的語・述語の無用な省略がある、無用な省略語・若者言葉の使用）